

研究部会 活動計画書

研究部会の名称

バイオマス系廃棄物研究部会

研究部会の今期(3～5年間)の活動目的

バイオマス系廃棄物の発生から利用(エネルギー、残渣の肥料利用など)まで網羅的に焦点を当て、様々な分野(農学、工学、経済学)や視点(原料、生産、利用)から議論を進める。本部会は発足後、20年が経過した。今後の20年を見据えたバイオマス系廃棄物の有効利用の方向性あるべき姿を模索、地域循環共生圏づくりに寄与できるようなシステムづくりに貢献するが、特に社会実装を念頭に検討を行う。また、若手部会員の発掘を行いつつ、非会員との親睦を深めることで部会員の増員を目指す。

研究部会の設置期間 年のうち、今年度は 年目

今年度の活動計画

【年次研究発表会における企画セッションの計画・概要】

地域循環共生圏づくりに寄与するバイオマス利活用技術の開発およびシステム開発と地域の活性化を以下に連動させるかについて議論を行う企画セッションを企画する。

【研究部会としての独自活動の計画・概要】

- 企画セッションを学会員以外にも積極的に周知し、研究発表会への参加を促す。
- 研究部会の活動として、若手研究者の活動を活性化することで研究部会の発展させる。
- 工場見学・講演会を実施する合宿を企画する。合宿は産業界へも周知し、産学の連携を深める。
- 学会員および研究部会員の増員を試みると同時に、他学会や機関と連携し、部会の活性化を図る。

◆具体的な活動の方針

- 1) 一泊二日の勉強会(合宿)の開催(部会員の交流と情報交換)
- 2) 幹事が関わる事業へ当部会を共催
- 3) 部会員の明確化
- 4) 部会ホームページでの情報発信力強化
- 5) 企業の方への部会協力者としての勧誘
- 6) 部会協力者あるいは幹事の発掘
- 7) 企画セッションでのアンケートの充実化
- 8) 部会が担当するセッションでの部会員の勧誘